

遠隔操作の自走式ロボ

九州エレクトロニクス パソコン使い視認

計測・制御機器開発の九州エレクトロニクスシステム（北九州市、松尾勝憲社長）は、遠隔操作が可能な自走式ロボット

の試作機の販売を始めた。カメラ部分で撮影した映像をパソコン画面上で視認しながら操縦できるのが特徴。ロボット開発を計画する機械メーカーなどに売り込む。

新製品の名称は「LSR32」。横幅四十センチ、奥行き四十センチ、高さ百四十センチで重量は三十キロ。価格は百八十万円。初年度五十台の販売を見込む。